

# 平成22年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	防災事業				開始年度	17		
基本目標	危機管理体制の整備				終了年度			
担当課(局)	総務課	担当係	生活安全係	記入者	川野 和成		評価者	間 省二
21年度決算	46,158	千円	22年度予算	6,747	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	5,829 千円		22年度人件費	5,785 千円		事業従事者数	0.80 人	0.80 人

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	災害時における住民の生命と財産の被害を最小にするため、平常時における予防対策と災害時における応急対策を講じる。
事業の内容	防災組織の活動の充実を図るため、避難訓練、消火訓練や講習会等を実施する。防災資器材については、コミュニティ助成事業や地域防災力向上促進事業費補助を活用する。災害時における避難所等での備品整備を年次的に行う。また、SOSネットワークシステムと帯同し、防災情報や啓発情報をメールにより配信する。

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 自主防災組織の結成	自治公民館単位で自主防災組織を結成することで、初動体制の強化を図る。
	2 災害時要援護者避難支援	災害時要援護者避難支援計画により、要援護者を迅速かつ的確に避難支援することができる。
活動指標	3 避難所の整備	避難所の指定や整備、備品等を整備することにより、災害時における避難対策を円滑にする。
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 防災資器材等の整備	助成事業や補助事業を活用し、自主防災組織の資器材、町の資器材等を整備する。
	2 出前講座、防災訓練	出前講座や防災訓練実施し、防災に関する意識の高揚を図る。
	3 ハザードマップの作成	災害危険箇所等のハザードマップを作成し、住民の避難体制を拡充する。

## ◎達成状況

		指標名	単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	自主防災組織の結成	目標値	組織	2	2	2
		実績値		0	1	
		達成率		%	0.0%	50.0%
	災害時要援護者避難支援	目標値	人	-	-	100
		実績値		-	-	
		達成率		%	#VALUE!	#VALUE!
避難所の整備	目標値	箇所	1	1	1	
	実績値		1	1		
	達成率		%	100.0%	100.0%	
活動指標	防災資器材等の整備	目標値	千円	1,250	2,600	1,555
		実績値		1,250	2,712	
		達成率		%	100.0%	104.3%
	出前講座、防災訓練	目標値	回	10	10	10
		実績値		7	9	
		達成率		%	70.0%	90.0%
	ハザードマップの作成	目標値	個		1	5
		実績値			1	
		達成率		%	#DIV/0!	100.0%

## ◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	防災対策は、災害対策基本法に基づき地域防災計画を定め、町が中心となって実施しなければならない。他課においても災害マニュアルを策定し、対策を講じているが、その基本は地域防災計画である。災害発生時はもとより、平常時においても予防策を講じることが重要であるため、事業を廃止することは出来ない。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	成果は、災害が発生してから効果が得られるが、訓練等を行う上で成果が得られている。更なる成果を期待するためには、予算の確保が必要である。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	住民の防災意識の向上に期待が得られる。経費や時間の削減は、効果に影響する。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	自治公民館との連携がとれることと、防災機関との連携が図れる。

事務事業名	防災事業	担当課(局)	総務課
-------	------	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	予期しない災害から身を守るために、自らの安全は自らが守ると言う意識付けは必要である。地域コミュニティが一体となって防災に取り組むことが最大の抑止力と考える。情報の提供と訓練の充実を、更に強化する必要がある。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
	廃止	縮小	現状維持	拡充	コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎評価の判断が難しいが、評価指標と活動指標を工夫してみてもどうか。 ◎防災事業は町が担うものであり、実施する事業に優先順位をつけるなど、年次的に事業を進めてもらいたい。また、町民自らが防災意識を持ち、災害に対し対応できるような啓発など積極的に実施してもらいたい。 ◎「安全安心なまちづくり」は政策の大きな柱である。町・関係機関・地域住民との協働(地域主体)による防災体制の構築に向け、事業を推進していく必要がある。災害時要援護者避難支援計画、防災行政無線のデジタル化推進計画の早期策定が望まれる。
	コスト	現状維持	